

ほんの少しの注意や行動が、生死を分けることがあります… 今一度 再確認を！

停止してしまった車両の運転手さんへのお願い

①歩き回らない

- ・事故などでやむを得ず停止した場合は本線・路肩を歩き回らないでください。
- ・高速道路は一般道とは違います！
同じ感覚での行動は絶対におやめください。



②後続車に対する安全措置

- ・後続車の運転者が、停止車両等に気付いているとは限りません。
- ・緊急事態に備え、停止表示器材（三角表示板等）・発炎筒は必ず積載し、
後続車両に対する安全措置を執ってください。



③避難と通報

- ・ガードレールの外側など安全な場所に待避したあと、
・110番・非常電話・道路緊急ダイヤル（#9910）などで通報を！



④本線上は 特に危険！速やかに路肩側へ

- ・故障や事故を起こしてしまった場合、速やかに車を路肩に移動させてください。
- ・移動が不可能な場合は、乗員全員、安全を確保しながら、路肩側へ避難。

運転中の皆さま（後続車）へのお願い

①危険予測

- ・停止車両を発見した時は、近くや陰に「人」がいる場合があります。
- ・常に「人」が出てくるかもしれないことを予測し、万一の危険に備えましょう！

②情報キャッチ

- ・道路の異常は 道路交通情報板・ハイウェイラジオ等で
情報提供を行います。
- ・「この先事故」「故障車あり」などの情報をキャッチしたら
速度を控えめに、十分注意して走行してください。



③渋滞末尾にご注意！ ～早めの休憩を～

- ・お盆、行楽シーズンなど交通混雑期には渋滞がしばしば発生します。
- ・渋滞を発見したら、早めのブレーキと、ハザードランプで
後方への注意喚起も忘れずに！



すべてのドライバーの皆さまへのお願い

シートベルトは命綱！～すべての座席で着用しましょう～

全席シートベルト着用が義務となっています。

高速道路等では後部座席もシートベルトを着用していない場合は違反となり、運転者に違反点数1点が付されます！



H26 死亡事故の要因・事例紹介

死亡事故要因のキーワードは・・・

停止車両との追突

人と車の事故

車外放出

停止車両との追突

9件/29件・9名/9名

事故・故障・渋滞の末尾などの停止車両に追突し、死亡事故に至る痛ましい事故多発！

発 生	道 路	事 故 概 要
H26. 1	東北道	前方事故で停止中の普貨に後続の車が追突し横転。 後続の運転手が死亡。
H26. 2	関越道	渋滞末尾で停止中の車両に漫然運転していた後続車が追突。 追突された車の乗員が死亡。

人と車の事故

5件/29件・5名/29名

事故・故障の際に高速道路上を歩きまわり、人が後続車に轢かれてしまう痛ましい事故多発！

発 生	道 路	事 故 概 要
H26. 3	東関東道	故障により停止した車両を手押しにて移動していたところに、脇見運転をしていた後続車が衝突。故障車の運転手が跳ねられ死亡。
H26. 3	関越道	数台の関係する事故が発生し、車外にいた事故関係者が後続車に跳ねられ死亡。

車 外 放 出

5件/29件・5名/29名

事故の際に、車外放出され、死亡事故に至る痛ましい事故多発！

発 生	道 路	事 故 概 要
H26. 3	上信越道	ハンドル操作を誤まり路肩防護柵に衝突。反動で車両が転覆停止。 乗員が車外に投げ出され1名死亡。
H26. 4	常磐道	居眠り運転をしたため、路肩防護柵に衝突。反動で後部座席の乗員が車外に投げ出され死亡。

※車外放出は死亡事故に直結。シートベルトをしていないと、交通事故致死率は、シートベルト着用時の約10倍に跳ね上がります。

※H26. 6月末現在の死亡事故件数（NEXCO東日本調べ）